

# ⑩ 銀山に巨大風車が建つ計画があるのを、知っていますか？

風力発電ができた町の話 日本最大規模・三重県青山高原等の実例

「三重県歯科医師・武田恵世氏の講演より(2022年5月31日長周新聞)」

風力発電事業は、事業者と投資家にとって有利だ。

経産省は、許可ではなく計画が規格に合っているか確認をするだけの「認証」をする。経産省は、環境影響など関係なく、機械的に認証する。そのため強制力も責任もない。

環境影響評価も、環境省の許可を得ている訳ではない。事業者は順に手続きを踏めばいいだけ。事業者は、経産省や環境省の許可を得て強制力があるかのような錯覚を狙っている。

事業者は、設立と解散が簡単で、融資や債権を集めやすい「特別目的会社」や「合同会社」を作って事業をする。

倒産や事故があった場合、出資金だけ責任を負い、簡単に事業者側が撤退できる。撤去費用の供託など、対策指導を事業者側が拒否する例も最近増えている。

お問い合わせ 風力発電を考える会 瀬川裕人 (銀山2丁目 ☎33-5590)